

基準化等作業・候補項目の現状

分野	基準化等に向けて作業を進めている項目	基準化等の候補として検討している項目
1. 少子高齢化への対応	1-1.チャイルドシートの側面衝突対策	1-2.乗車人員の体格差等の考慮*
2. 歩行者・自転車乗員の事故防止・被害軽減対策		2-1.歩行者脚部保護性能の向上
3. 新たなモビリティへの対応	3-1.燃料電池自動車の安全性	3-2.ハイブリッド自動車等の静音性対策* 3-3.超小型モビリティの安全性能* 3-4.電気自動車の安全性
4. 大型車がからむ重大事故対策	4-1.車両安定性制御装置の装備義務拡大 4-2.衝突被害軽減ブレーキの装備義務拡大及び基準強化	4-1.大型特殊自動車のEBS
5. 乗員保護対策		5-1.頸部傷害軽減対策の強化 5-2.コンパティビリティ改善対応ボディ等の前面衝突対応(R94) 5-3.ポール側突対策 5-4.内部突起(R21)*
6. その他安全対策	6-1.圧縮天然ガス(CNG)を燃料とする自動車(R110)* 6-2.小型コミュニティバスに係る車両構造要件等の見直し 6-1.応急用予備走行装置及びタイヤ空気圧監視装置(R64) 6-2.二輪自動車の操縦装置配置及び識別表示等(R60) 6-3.窓ガラス(R43)* 6-4.かじ取装置(R79)*	6-5.ドライブレコーダー* 6-6.EDR(イベント・データ・レコーダ)* 6-7.飲酒運転防止対策 6-8.DRL(Daytime Running Light)(R87) 6-9.ブレーキ・オーバーライド・システム 6-10.レーンキープアシスト 6-11.パーキングアシスト 6-12.緊急自動通報装置(e-call) 6-13.番号灯(R4)* 6-14.追突時の燃料漏れ防止(R34)* 6-15.後写鏡(R46)* 6-16.騒音(R51)* 6-17.LPG専用装置(R67)* 6-18.燃料要件別排出ガス規制(R83)* 6-19.乗用車のCO2排出量と燃費(R101)* 6-20.タイヤ単体騒音、ウェットグリップ及び転がり抵抗(R117)*

* 平成23年交通政策審議会報告書中取り組むべき事項として挙げられているもの

※現在、国際会議の場で検討を行っている「国際的な車両型式認証の相互認証制度(IWVTA)」の実現に向け、今後項目を追加予定

(一)見え消し:平成23年交通政策審議会以降に、作業が完了したものの